

|         |      |                   |    |      |                                                                                                                                                                               |     |   |
|---------|------|-------------------|----|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---|
| 学年      | 高校2年 | 教科                | 国語 | 科目   | 論理国語                                                                                                                                                                          | 単位数 | 2 |
| 教科書名    |      | 探求 論理国語<br>(桐原書店) |    | 副教材名 | 読解現代文必携 キーワードの卵<br>(尚文出版)<br>リテラ 大学入学共通テスト対策問題集<br>(文英堂)<br>「探求 論理国語」がひらく世界 近代小説四選—山月記・こころ・舞姫・変身<br>(桐原書店)<br>大学入試 国語頻出問題 1200 四訂版(いゐずな書店)<br>現代文 長文記述問題集1 読解力習得編<br>(いゐずな書店) |     |   |
| コース・クラス |      | 選抜理系              |    |      |                                                                                                                                                                               |     |   |

#### I. 目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

#### II. 授業のねらい

- 1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 2 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 3 文学作品の基本構造を理解し、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえて表現を味わえるようにする。

#### III. 授業の進め方

- 1 自らの力で文章を理解し、説明できる言語能力を養成する。
- 2 講義形式・AL・電子黒板・ICTなど聴覚・視覚に訴えるよう、様々なツールを活用する。
- 3 語学的な知識の習得を目的とした小テストを実施する。
- 4 「文芸コンクール」に向けての学習や準備も適宜取り入れる。

#### IV. 学習上の留意点

- 1 教科書の新しい単元に入る際は、予習として意味調べや漢字の書き取り、作品の通読を行うこと。
- 2 授業中には、板書や必要な情報や気づいた点などをノートに書くこと。

#### V. 定期試験

- 1学期 中間試験 : 評論「いのちは誰のものか?」・初見問題
- 1学期 期末試験 : 小説『山月記』・評論「変身に伴う快楽と恐れ」・初見問題
- 2学期 中間試験 : 小説『こころ』・評論解析A B・初見問題
- 2学期 期末試験 : 小説『こころ』・評論「淋しい人間」初見問題
- 3学期 学年末 : 評論『「である」ことと「する」こと』・初見問題

※ 状況によって変動する場合がある。

#### VI. 評価の方法

- 1 定期試験…授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
- 2 小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 3 提出物…積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

## VII. 授業計画

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。

| 学期  | 月  | 単元・学習項目                          | 評価方法                | 到達目標                                                                                                                                                                      |
|-----|----|----------------------------------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一学期 | 4  | 基礎学力到達度テスト演習<br>評論「いのちは誰のものか？」   | 定期試験<br>小テスト<br>提出物 | ・一つの疑問に対し、二者択一の作業にとらわれることなく新たな発想をあぶり出し、思考を深める。<br>・医療や生命に関わる現代社会の諸問題について考えを深める。<br><br>・「言語」による恩恵と弊害を同時にとらえる。<br>・小説『山月記』の内容を踏まえ、変質についての二面性について筆者の考えを理解し、自分のアイデンティティを考える。 |
|     | 5  | 小説『山月記』                          |                     |                                                                                                                                                                           |
|     | 6  | 評論<br>「変身に伴う快樂と恐れ<br>—『山月記』を通じて」 |                     |                                                                                                                                                                           |
|     | 7  |                                  |                     |                                                                                                                                                                           |
| 二学期 | 9  | 評論解析 A・B 演習                      | 定期試験<br>小テスト<br>提出物 | ・『こころ』に描かれる人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。<br>・恋愛の意味、淋しさの本質をつかみ、夏目漱石の時代に関する知識を蓄え、さらに小説を味わうための着眼点を養う。                                                     |
|     | 10 | 小説『こころ』                          |                     |                                                                                                                                                                           |
|     | 11 | 評論<br>「淋しい人間 —『こころ』を通じて」         |                     |                                                                                                                                                                           |
|     | 12 |                                  |                     |                                                                                                                                                                           |
| 三学期 | 1  | 評論『「である」ことと「する」こと』               | 定期試験<br>小テスト<br>提出物 | ・対比的な論述から全体の内容を整理し、筆者の述べている論旨を理解する。<br>・現代社会における学問分野について理解し、自分自身の将来について考える。<br>・入試に対応できるだけの、現代文分野の基礎力の定着度を、問題演習を通じて確認する。                                                  |
|     | 2  |                                  |                     |                                                                                                                                                                           |
|     | 3  | 「リテラ大学入学共通テスト」問題演習               |                     |                                                                                                                                                                           |